

平成30年度 新潟県立新津高等学校

1 教育目標

- (1) 真理を求め、創造性豊かな英知を持った人間の育成
- (2) 良識を持ち、自律的に行動できる勇氣ある人間の育成
- (3) 公共心に富み、情操豊かで健康な人間の育成

2 校訓

學ぶは高き人の道

→「學ぶことによって、徳性の高い人間となる」

・しなやかな心 を持つ

→「自分のもともとの能力は生まれつきのものでなくて、努力によって後天的に伸ばすことができる」と信じること。

・あたたかい心 を持つ

→勉強も部活動も大切ですが、まず身につけなければならないことは、相手の立場に立って物事を考え、思いやりの心や正義の心を身につけること。

新津高校は「しなやかで、あたたかい進学校」をめざします。

3 学校運営方針

意欲的に自分の夢を育み、その実現に向け確かな学力を身に付けさせ、国際的な視野も備えて、社会に貢献できる人間の育成を目指す。

4 今年度の目標

- (1) 知育
 - ア 計画的な進路探究活動を通して、進路目標の明確化を図る。
 - イ 進路目標達成のため、学力の向上を図る。
 - ウ 国際的な視野の育成を図る
- (2) 徳育・体育
 - ア 挨拶の励行を基軸に、基本的生活習慣を確立する。
 - イ 部活動・学校行事への主体的取り組みを通して、健全な心身と粘り強い精神を育成する。
- (3) 地域に開かれた学校づくり
 - ア 保護者・地域に向けて情報提供を積極的に行う。
 - イ 地域社会との交流を通して生徒の社会性を培う。

5 達成目標

学校生活満足度 90%、 全員進級・全員卒業、 原級留置・中退 0人
いじめ・不登校 0人、 生徒指導 0人、 自習 0時間
進学者数 新潟大学50人以上、国公立大100人以上、難関大10人以上

*学校生活満足度は、「学校生活アンケート」(1新津高校に入って良かった2楽しく充実した学校生活を送っている)で判断。

○ スクールアイデンティティー

当たり前なのが、自然にできる生徒を育成する学校

- ・「人として、してはならないこと」はしない。
- ・「遅刻・欠席をしない」「挨拶ができる」「人の話が聞ける」「掃除ができる」
- ・基本的生活習慣の確立（3点固定、家庭学習3時間の確保）

大学等への進学を希望する生徒の自己実現を支援する学校

- ・進学者数 新潟大学50人、国公立大学100人以上、難関大学10人以上

新津高校は、勉強も部活も頑張りたい生徒を応援します。

○ めざす学校像

生徒が充実した高校生活を送り、全員が進級・卒業でき、進路希望達成率100%となる。

- ・朝から、生徒全員が元気よく挨拶ができる。
「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「感謝してます」
- ・生徒が、学校で伸び伸びと学び、自分の人生の目標を高く掲げて、卒業するときには望んでいた進路を達成できる。
- ・将来の仕事に耐えることができる気力・体力・学力を身につけている。
- ・体育部・文化部で活動する生徒が、明るく、元気に、たくましく部活動を行っている。

○ 本年度の重点目標

- ① 全員進級・全員卒業、不登校生徒数 0人
- ② 進学者数 新潟大学50人以上、国公立大学100人以上、難関大学10人以上
- ③ 部活動の充実（全国大会、北信越大会への出場）

○ 合い言葉

受験も部活も団体戦 : みんなで勉強と部活を頑張ろう。

新津高校のトリプルスリー : 「3点固定」「家庭学習3時間」を3年間続ける。

ハンドレッド・テン : 進学者数を国公立大100人以上、難関大10人以上に。

○ 部活動の心得(モットーとスピリッツ)

○部活動の2つのモットー

「礼儀正しく、元気に挨拶する」

- ・挨拶は、元気よく、大きな声で、心を込めて行う。
- ・礼儀正しく振る舞い、相手に敬意を払う。

「3点固定と家庭学習最低2時間を継続する」

- ・起きる時間、寝る時間、勉強する時間を決めて、その時間に実行する。
- ・部活のある平日は最低2時間、土日は最低3時間の家庭学習を頑張る。

○部活動の2つのスピリッツ

「絶対に勝つという気迫を持つ」

- ・勝つという気迫は、どの学校の生徒にも負けない。
- ・自分に負けず、最高のプレイをする強い気持を持ち続ける。

「最後まで諦めない強い心を養う」

- ・最後の最後まで、決して諦めない。
- ・勝負は終わるまでわからない。最後まで全力を尽くす。